

しこく

夏

2024年6月
第80号

02 特集

地域がん診療病院とは

04

病院長のつぶやき

Smile, Speed, Sincerity に
加えて4つ目の S をがんばろう！

05

お知らせ

最新マンモグラフィ装置を導入

06

院外活動レポート

さぬきメディカルラリー／
高知BLSOプロバイダーコース



特集

地域がん診療病院とは



本年4月をもって当院は地域がん診療病院に指定されました。「がん対策基本法」に基づき、全国どこに住んでいても質の高いがん医療が受けられるように、愛媛県がん診療連携拠点病院（四国がんセンター）、地域がん診療連携拠点病院（愛媛大学附属病院、住友別子病院など6病院）に次ぐ存在として厚生労働大臣から指定されました。

がん診療強化委員会委員長
乳腺内分分泌外科／緩和ケア外科
武知 浩和（たけち・ひろかず）

国指定地域

がん診療病院としての

当院における役割

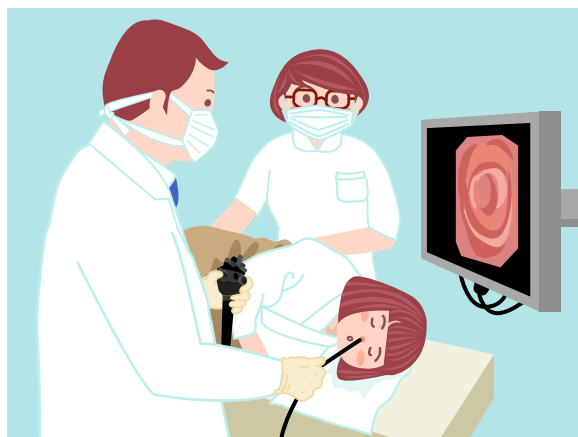
具体的には専門的かつ標準的がん医療の提供、がん診療の連携協力体制の整備、がん患者相談支援や情報提供などにおいて宇摩地区におけるがん診療の中心となる役割を求められます。

地域がん診療病院の指定については病院ホームページに掲載していますが、私は非常に緊張して受け止めています。なぜなら当院が施設認定された事で満足してしまうのでは無意味であり、地域のがん患者の皆様に必要な治療が提供され、その結果として、皆様の満足度が上昇するかどうか？が求められているのだと思っています。今後の当院がん医療の真価が問われているのだと、身の引き締まる思いでいっぱいです。

当院のがん診療体制と 標準的治療等の提供

当院のがん診療体制をご紹介しますと、5大がん（肺癌、胃癌、大腸癌、乳癌、肝癌）を中心に、四国がんセンターなどと連携して、がん診療／支援をおこなう体制が既に整備されています。また当院で治療を完結させる場合でもガイドラインに準拠した標準治療を提供できていると自信をもって言えます。そのチェック体制を強化する意味での症例カンファレンスは適宜開催され、医師による治療方針のばらつきは解消されています。この点は非常に重要であり、ガイドラインに基づいて、カンファレンスで意見統一することにより、





居住地域や担当医師による治療内容に差が無くなることを意味します。すなわち国が求めている「がん治療の均てん化」につながるのです。しかしながら、がん患者の皆様にとって、担当医師から提案された方針が標準的なのかどうか？ 具体的説明がなされていない場合には非常に不安になることでしょう。この不安を解消するために積極的な追加情報提供をおこなうことも当院には求められています。具体的には「看護師・薬剤師による説明補助」、「がん相談支援センター活用」、「パンフレットなどを使用した情報提供強化」など

を今まで以上に充実させて、提示された方針を理解納得したうえで治療を受けてもらいたいと切望しています。それでも不安な場合にはぜひセカンドオピニオン制度（基本的患者権利です）を活用してください。その際のポイントは、両医師の意見が一致した場合には、迷わずに速やかに治療開始すべきという点です。ぜひご参考になさってください。

「がん相談支援センター」に

情報を集約し、

「多職種チーム医療」で

ベターを尽くす



一方、患者支援や支持療法／症状緩和などについてはがん相談支援センター（がんよろず相談所と呼んでほしい）に情報を集約し、多職種で意見や知恵をだしあってベターを尽くしていくと考えています。もはや医師だけが治療方針を決定する時代は終わりました。多職種チーム医療が機能するかどうか？ は、質の高いがん医療をおこなううえでの生命線の一つになっていると感じています。幸い当院は優秀かつ有能な人材に恵まれていますので、がん診療プ

ラスアルファの部分にも力を入れていく方針です。特に①早期癌に対する診断時緩和ケア／進行癌に対する早期緩和ケア、②化学療法支持療法、③癌治療時の外見変化に対するアピアランスケア、④在宅療養支援、⑤がん救急対応、⑥患者相談、⑦情報提供、⑧がんリハビリ、⑨栄養支援や⑩患者サロン活動などを重要視しています。種々の問題点が今後発生するかもしれませんが、謙虚に地道に改善を重ねながらベターを尽くしていくと決意しています。ぜひご期待ください。

化学療法（抗癌剤治療）など

高齢がん患者への適切な対応



もう一つ大切なお話をします。それは高齢者へのがん治療、特に化学療法（抗癌剤治療）については適応を相当慎重に判断しなければいけないという事実です。この長寿社会において何歳以上で高齢者と呼ぶかは難しい面もありますが、がん治療の中で比較的危険性が高いとされる化学療法については多面的に評価をおこなうことの重要性が多数報告されています。がん治療をおこなうこと

で予備力や認知機能が低下している高齢者の生活力を奪うような事態は是非とも避けたいと考えています。高齢がん患者への適切な対応（過剰治療／治療不足を防ぐ）も地域がん診療病院の非常に重要な責務だと考えています。

末尾になりますが、皆様へお届けするメッセージとして、宇摩圏域を代表する地域がん診療病院として職員一同、精一杯貢献していくことをお約束します。

当院ではがんの医療提供を推進するために

がん相談支援センター

を設置しています。

詳しくは…

各診療科 又は
患者相談支援室に、
お問い合わせください



公立学校共済組合
四国中央病院

病院長 北川哲也



Smile, Speed, Sincerity に 加えて4つ目のSをがんばろう！

本年は院内の桜咲く前の4月1日であったが、16名の新規採用者を迎えられることをとても嬉しく思う。

私たちが伝えるのは命、繋ぐのは命、地域との責任ある連携をとりながら、現代に相應しい医療を提供できる様に、日頃から知識、技術、観察力や判断力を磨き、正確かつ迅速に対応できるように備えていこう。新しく、しなやかで、多様な力を存分に発揮してほしい。理念にある3Sに加えて、4つ目のSとしてStudyを意識して、絶えず学び続け、成長していこうではないか。

10年ほど前に、外科医は、きつい、汚い、危険の3Kの絶滅危惧種と揶揄されたが、いち早く次世代の若手外科医を養成しようと学会U-40が結成されたこともあり、彼らの組織化と活動支援に情熱を注いだ。若者らしく、患者、コメディカル、心臓血管外科医の3つの笑顔、をテーマとして掲げ、私には目から鱗の金魚すくいのポイを用いた縫合

練習などの安価で何時でもどこでも二人でできる創意工夫に満ちた Off the job training を開発するなど、ほとぼしる情熱とエネルギーを体感した。彼らとともに、全国8支部の勉強会と Wet & Dry Lab を組み合わせたハンズオンを軌道に乗せた。これらのU-40の活動は他学会から見たロールモデルとなっており、今後の活動が注目されている。

2月の学会で久しぶりに多様に成長したU-40達に再会した。彼ら一人一人が一生懸命に駆け抜けた10年が誇らしくあるだろうが、きっと、現在もこれからも幾度も心折れることがあるであろう。当院の玄関ロビーに展示されている書にあるように、「貫徹、雨垂れ石を穿つ、今はただ僅かずつ進め」と、激励のメッセージを送った。

当院は、今年度から、国指定の『地域がん診療病院』として地域貢献する。四国がんセンターや住友別子病院等と協働して、県がん連携協議会の運営・活動に参画し、何よりも宇摩圏域のがん医療の質向上に寄与したい。そして、新病院建設計画は順調に進み、4年後には、市民の期待を背負って、質の高い医療を責任をもって提供する、明るく、親しみやすく、利便性良く、そして強い中核病院へと生まれ変わろうとしている。皆さんが、その担い手となり、進歩するための新しい風となることを期待している。

Doctor's column ドクターズ コラム

注目の医療技術や
健康づくりの
ヒントを紹介します

「悪玉 コレステロール」 って何？



健診を受けると、たいいてい血液検査でコレステロールを測ります。そしてコレステロールは「悪玉コレステロール」と「善玉コレステロール」に分けられて通知されます。この「悪玉・善玉」とはいったい何なのでしょう？

実はコレステロールは身体に悪いものではなく、ヒトが生きていくために必要不可欠なものです。コレステロールは全身に存在する細胞の膜の材料に使われています。特に多く含まれているのは脳などの神経組織です。また各種ホルモンや胆汁酸（胆汁の成分）もコレステロールから作られます。つまりコレステロールは身体の内なる所に存在し、生命を保つうえで欠かせない栄養成分なのです。コレステロールは主に肝臓で作られます。血液の中のコレステロールは食事由来のものもありますが、多くは肝臓で合成されたものです。肝臓で作られたコレステロールは血液に乗って身体すみずみまで運ばれ利用されます。ただコレステロールは脂質（あぶらの一種）なので、そのままでは血液に溶けません。そこでリポタンパク質という小さな粒子のなかに入って運ばれます。つまりコレステロールは、リポタンパク質という乗り物に乗って血液中を流れるのです。リポタンパク質は

全部で5種類ありますが、それぞれ違う役目を持っており、コレステロールの乗り物としての行き先も異なっています。リポタンパク質のなかで特に重要なのが、LDL（低比重リポタンパク質）とHDL（高比重リポタンパク質）の2つです。LDLは肝臓から全身の組織にコレステロールを届ける乗り物で、HDLは逆に余ったコレステロールを回収して肝臓にもどす乗り物です。もうおわかりでしょう、LDLに乗ったコレステロールが「悪玉コレステロール」で、HDLに乗ったコレステロールが「善玉コレステロール」です。LDLは全身にコレステロールを届けますが、もう必要がなくなつた細胞にもコレステロールを運び込むことがあります。特に血液に直接触れている血管の壁は、LDLが増えるとコレステロールが過剰に運び込まれる可能性が高くなり、それが動脈硬化の原因となります。逆に余ったコレステロールを回収してくれるのがHDLで、結果的に動脈硬化を防いでくれています。LDLもHDLも自分の仕事を忠実にこなしているだけなので、「悪玉」や「善玉」は人間の都合で勝手につけられた呼び名です。

では「LDL（悪玉）コレステロール」が高い人はどうすればいいのでしょうか。実は、高コレステロール血症の医学的解釈はとても難しいので、治療方法などをここで一概に述べることはできません。今後このコラムでコレステロールの話題をとりあげ、できるだけわかりやすく説明したいと思っています。



健康管理センター長
濱田 信一（はまだ しんいち）

当院ではこのたび、フジフィルム社製の最新マンモグラフィ装置「AMULET SOPHINITY」を導入しました。

これにより、以前よりも鮮明な画像が得られ、またトモシンセシス（3Dマンモグラフィ）といわれる断層撮影が可能になったので、病変の検出能力が向上しました。
被曝も少ない低線量撮影ですので、安心して検査を受けていただけます。



乳がんは女性で
一番多いがんです。
定期的に検診を
受けましょう。

撮影は2名の
女性放射線技師が
担当します。

【一般受診のご予約等はこちら】
乳腺外科 平日 14:00 ~ 16:00

【人間ドックのご予約等はこちら】
健康管理科 平日 10:00 ~ 17:00

公立学校共済組合 四国中央病院
電話 0896-58-3515 (代表)

「書道パフォーマンス甲子園」 作品を展示中です

当院では令和5年7月に開催された第16回大会の作品を展示させていただきます。ご来院の際はぜひご覧ください。（作品は定期的に入れ替わる予定です）



愛媛県立松山東高等学校の作品

「LINE 公式アカウント」開設

四国中央病院では「LINE」の公式アカウントを開設しました。「友だち」機能を使うと広報誌「しこく」発行の都度お知らせが届くほか、皆様に役立つ情報を随時お伝えします。

当院のホームページを簡単に閲覧できるようにもなり、広報誌を過去号を含めてお気軽にお読みいただくこともできますので、ぜひ「友だち」登録をお願いします。

@073haeyq

LINEの「友だち追加」から
ID検索するか、QRコードを
スキャンしてください



Report

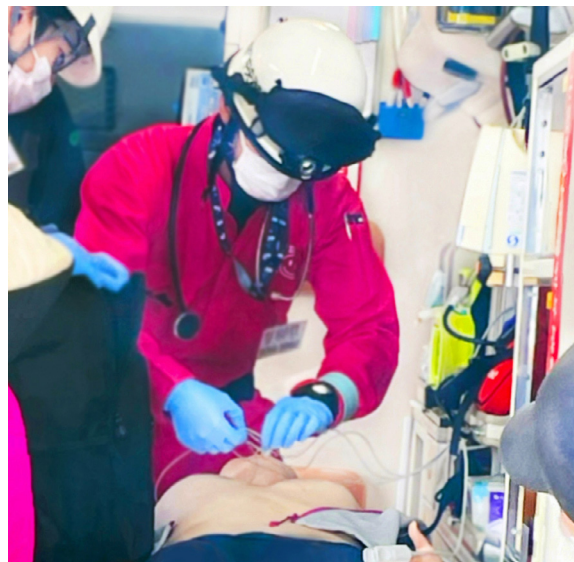
レポート1

香川県坂出市で開催されました
「さぬきメディカルラリー」に参加しました。看護師
竹内 沙織

メディカルラリーとは、主に医師や看護師、救急救命士からなるチームが、模擬患者に対して診察処置を行い、その的確さや職種間の連携などを競う大会のことです。

ラリー当日、四国内の4県はもちろん、福島・鳥取・鹿児島・沖縄といった全国各地から集まった8チームのなかで、私たち四国中央病院は四国中央市消防防災センターの合同チーム【TEAM 四国中央】として参加してきました。今回は、1想定(シナリオ)、15分制限で4つのステージが用意されていました。そのなかでも爆発物(テロ)による多数傷病者発生事案の想定(シナリオ)では、混乱する現場で警察官や消防隊員と協力し情報収集や状況評価を行い、負傷した16名のトリアージを実施し必要な治療や搬送の優先順位を決めていきました。

リアルに再現された模擬現場で、実戦さながらに動くことにより、個人の技術力の確認はもちろん、何より他職種との協働や情報共有の大切さといったチームワークの必要性を体感できる貴重な経験ができました。結果は8チーム中5位で目標の上位入賞には及びませんでした。高度救命センターや大学病院など救急救命の経験が豊富なチームが多い中で、大健闘できたと感じています。



近年、全国各地で大地震が発生しており、今後多くの箇所地震の発生する可能性が指摘されています。そのため、このような訓練を通じて私たち医療従事者が日頃から顔の見える関係を築き、災害時お互いの分野を活かした円滑な協力と連携を行っていきます。

次こそ優勝をめざして！
諦めず挑戦します。





高知BLSO講師・救命士18名／高知県立大学で開催

レポート 2

高知BLSOプロバイダーコース ～アシスタントとしての学びを 地域課題に活かして～

北2階病棟 副看護師長 助産師
中尾 慶子

高知BLSO開催の背景

2024年3月16日、4年ぶりにBLSO（交通事故などの妊婦外傷を含む、病院前の産科救急に遭遇する救急医、救急ナース、救急救命士を対象とした教育コース）が高知県立大学で開催されることになりました。高知県・高知市病院企業団立高知医療センター産婦人科医師、災害小児周産期リエゾンの渡邊理史医師からの依頼を受

安全で効果的なスケジュール作成

事前 ZOOM ミーティングでは、消防のリスクマネジメント理論 CRM（Crew Resource Management）についての理解を深めました。テクニカル（専門技術）要素のみならず、ノンテクニカルスキル（組織で問題解決する技術）に注目したマネジメントを、講師スタッフと共にスケジュールを組み立てていました。

けて、分娩介助、新生児蘇生、女性傷病者の評価、救急車内分娩などのアシスタントをさせていただきました。高知県では、医師不足、少子化に伴い、分娩施設の7割が高知市周辺に集中しているため、離れた地域に住む妊婦が安全に出産できる環境の確保が課題となっています。このような背景から、救急救命士は、BLSO を受講されています。

安全に出産できる
環境の確保



母体の救命処置



渡邊理史医師

チームステップスと4本の柱・心理的安全性のある組織

当日は、高知県内の救急救命士 18 名（6 グループ）がこの講座に参加しました。妊婦を救急車で病院へ搬送途中に赤ちゃんが生まれそうになった場合の分娩介助方法や、産まれたばかりの赤ちゃんの心拍が低下している場合を想定して、人工呼吸や胸骨圧迫の手技を確認しました。また妊婦への問診、効果的な声かけや配慮、搬送中の注意点についても理解を深めました。

高知医療センターの林和俊医師による TeamSTEPPS の 4 つの柱、心理的安全性（右図）についての講義がありました。

常位胎盤早期剥離の症例検討では、搬送病院への情報共有についてグループワークを行いました。救急車内分娩では、私は産婦役を演じましたが、救急隊員の増援を呼ぶタイミングや病院への連絡、新生児蘇生、母体弛緩出血などの対応を想定し、チームで取り組んでいる姿に、人知れず涙ぐんでしまいました。この様子は NHK 高知県のニュース『救急隊員が“急なお産への対応”学ぶ 高知市』でも放送されました。

救急救命士が周産期の搬送経験で『自宅、車中等の

		仕事の基準	
		低い	高い
心理的安全性	高い	ヌルい職場 仕事の充実感がない	学習する職場 学習して成長する職場
	低い	サムい職場 余計なことをせず 自分の身を守る	キツイ職場 不安と罰による コントロール

病院外分娩』が最も多いとアンケートに回答していました。また、『妊産婦に対する教育の場が不十分である。』『独学で独自の訓練は難しい現状である。』『症例数が少ないが緊急度が高く、傷病者の予後を左右する。』という意見もあり、安全な出産できる環境の必要性を感じられていました。

2012年から当院で取り組んでいる四国中央市消防署との産科救急合同勉強会でも、消防職員が参加してくれています。2024年度は南海トラフ地震を見据え、渡邊医師を講師として、災害時の施設外分娩、新生児の対応などを企画していきたいと考えています。

新規採用者 合同オリエンテーションを実施しました。



令和6年度は13名の職員が当院に入職し、
新規採用者合同オリエンテーションを行いました。

新たに着任した医師を紹介します。



呼吸器内科医員
青井 優 (あおい ゆう)

趣味: 旅行、TVゲーム
自己PR: 市立三野病院より転勤してまいりました。呼吸器内科として、地域住民の皆様へ少しでも貢献できるよう尽力させていただきます。どうかよろしくお願いたします。



産婦人科医員
笹田 ひかり (ささだ ひかり)

趣味: ライブ、動画視聴
自己PR: まさか1年で戻ってくることは思っていませんでしたが、また四国中央病院で働けることを大変嬉しく思います。皆さんのお役に立てる様頑張りますので、よろしくお願いいたします。



旬 キュウリ を食べよう!



キュウリ(胡瓜・黃瓜)の成分の95%は水分です(水分量の多い野菜トップ3:1位キュウリ、2位大根、3位トマト)。とかく「栄養がない」とされがちですが「カリウム」を比較的多く含んでいます。カリウムはナトリウムを排出させる働きがあり、利尿を促し、腎臓の機能をサポートします。体のむくみや疲労の解消や血圧の安定にも役立ちます。体を冷やす効果もあり、夏場に積極的に食べたい野菜の代表です。

きゅうりのピリ辛漬け



◆ 材料 (2人前)

きゅうり 2本、塩少々、調味料(しょうゆ、酢、ごま油:各大さじ1/2、砂糖、赤唐辛子(輪切り)、白いりごま:各少々)

◆ 作り方

①きゅうりのヘタを落とし、めん棒などでたたき、食べやすい大きさに手で割る。②保存袋(ビニール袋など)に入れ塩を加えて揉み5分ほど置く。出てきた水気を軽く絞る。③調味料を加え、全体になじませ10分以上置いて完成!(保存は冷蔵庫で3日程度)

読者アンケートを募集中!

応募締切 2024年7月31日(日)まで(当日消印有効)

抽選でQUOカードを プレゼント!



ハガキに次の質問の回答を
ご記入いただき郵送ください。

- ① 住所
- ② 氏名
- ③ 年齢
- ④ 職業
- ⑤ 病気について知りたいこと
- ⑥ 四国中央病院について知りたいこと
- ⑦ その他(感想や取り上げてほしいこと)

【送り先】

〒799-0193
愛媛県四国中央市川之江町2233番地
四国中央病院経営企画課
「広報誌しこく」読者アンケート係

病院理念… Smile(笑顔)、Speed(迅速)、Sincerity(誠意)を基調として、質の高い医療を提供し、
地域と共に成長し、安心・安全を未来に繋ぐ。



公立学校共済組合

四国中央病院 国指定 地域がん診療病院

Shikoku Central Hospital of the Mutual aid Association of Public School teachers

〒799-0193 愛媛県四国中央市川之江町 2233 番地

TEL (0896) 58-3515 FAX (0896) 58-3464

ホームページ <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>

四国中央病院 LINE 公式アカウント



@073haeyq

LINEの「友だち追加」からID検索するか、
QRコードをスキャンしてください